

えいせい

都庁職衛生局支部ニュース 本庁版

2008年7月1日発行

発行責任者 支部長 小野塚洋行

内線03-210 電話03-3349-1501

都庁職

「労働時間の短縮に関する要求」 「休暇等に関する要求」を提出

労働時間は7時間45分に短縮を・子育てしながら働く職員の環境改善を

6月26日、都庁職は「2008年都庁職労働時間の短縮に関する要求」及び「2008年都庁職休暇等に関する要求」を都当局に対して提出しました。

要求書提出にあたり、都庁職は所定労働時間を超えた恒常的超勤が、職員の健康破壊を引き起こしている深刻な事態を指摘し、超勤縮減と不払い残業の根絶とともに所定労働時間の短縮をはかるよう求めました。また、夏季休暇の連続取得・完全取得とともに年休取得の促進についても引き続き職場環境整備に努力するよう申し入れました。労働時間の短縮は休息时间廃止、休憩時間見直しにより、職場の強い要求となっています。都庁職としても最重点要求としており、ぜひ重く受け止め誠意をもって回答するよう求めました。

休暇等に関する要求では職員の仕事と子育ての両立支援の取り組みが行われてきましたが、子育てしながら働く職員をとりまく環境は改善されていないと指摘しました。その上で、育児・介護休暇等の男性取得率の推進、介護休暇の時間積み上げ方式への変更、時間単位の病気休暇の適用要件緩和を要求しました。さらに、民間ではすでに対象となっている再雇用・非常勤職員への育児休業制度導入を求め、報酬減額となる休暇等の減額を免除するよう求めました。

都庁職労働時間の短縮に関する 要求項目

1. 1日あたりの労働時間を7時間30分に短縮し・週あたりの労働時間を37時間30分とすること。当面、人事委員会の調査結果に基づき、1日あたり7時間45分とすること。
2. 時間外労働について、全庁的に超勤規制を推進するとともに、36協定を遵守すること。

「都庁9条の会発足の集い」へのお誘い

私たちは憲法の遵守を宣誓し都の職員になりました。憲法の守り手である私たちは憲法改悪の動きを黙って見てはいられません。特に9条の改悪は戦後63年間誰一人戦争によって殺さなかった、殺されなかった日本を再び戦争へかり出すものであり決して許してはなりません。9条を守るために全国で7000を越える9条の会が活動しています。「都庁9条の会」を結成するにあたり、発足の集いを開催する事になりました。当日は平和コンサートも予定しています。多くの方の賛同・御参加をお待ちしています。

日時 7月16日(水) 18:30～ **会場** 1庁32階南 西洋フード

参加費 2000円(支部が半額助成)



「行財政改革実行プログラム実施状況報告(平成19年度)」に対するコメント(要旨)

2008年6月26日 東京都庁職員労働組合

石原都政の前半は財政再建等を理由に福祉・教育・医療・住宅など都民生活に直結する部分や職員には厳しい締め付けを行った。事業所は100カ所以上廃止・民間移譲等を行う一方で、新銀行を設立し、大規模開発には莫大な税金を投入してきた。後半になって景気がよくなり都税収入がのび財政状況が好転すると、オリンピック招致と「10年後の東京」に基づく施策に大きくシフトし、さらに基金に貯めこみを行っている。それでも職員定数は繰り返し削減計画が掲げられ、その計画を上回る「達成」で21,700人以上が削減されている。

実施状況報告において、一部実施は27項目ある。豊洲新市場へのPFIの導入では、高濃度の土壌汚染が明らかとなり専門家の提言などを踏まえた上での対応を余儀なくされ、公社化された「多摩南部地域病院」で一般医療分野の自己収支率が改善されていないことなどを指摘せざるを得ない報告となっている。

さらに指定管理者制度の導入は201施設にのぼり、「東京都版市場化テスト」が導入され、民間への業務委託が進められており、「経営」の観点から徹底した都政リストラを推進している。これらは公的責任の放棄である。この間推進してきた「改革」について当局の検証は不十分であり、「改革」ありきの都の姿勢は直ちに改めるべきである。

3年間で4,000人の職員定数削減を含んで策定された「実行プログラム」は、格差社会に苦しむ都民、医療制度の変更で大きな負担を強いられている都民生活を顧みないもので、容認できない。この間進められてきた民間委託や民間移譲、公社化などにより、当該の職場が大きく混乱したり、都民サービスの切り下げが明らかとなっている。今、都政に必要なのは「改革ありき」で進めてきた施策を検証し、都民の生活感覚に合わせて見直すことであり、都民生活に対して行政責任を果たすことである。職員がこれまで培ってきた知的財産や技術・技能を安易に民間に投げ出さず、知的財産や技術・技能の継承、技術力向上と、計画的な職員採用推進の立場に立ち、とりわけ深刻な医師不足の解消・看護師支援体制を強化し、都民サービスの最前線にたつ現業職場を維持することである。

都庁職は、都民に「自立・自助」を押しつけて公的責任を放棄する「行政の民間開放」を推進する姿勢や、数値目標を達成するための職員定数削減など「構造改革」を推進することに強く反対する。潤沢な都税収入は多くの都民が安心して生活できるよう福祉・医療・教育や雇用など都民要望の実現に重点的に使うべきである。合わせて都政の最前線で働く都庁職組合員の声に耳を傾け、長時間過密労働の解消や労働条件の改善にむけ、必要な予算措置や人員配置を行うことを強く求めるものである。

都区職員生協産直お奨め品

ブルーベリー (生) 長野産

350円150g

7月15日 (火)



お昼休みに支部室(27階南)で販売します。

数に限りがありますので電話で予約していただくと確実です。

(衛生局支部 内線63-210)

奥多摩ますつり大会

日 時 2008年8月23日(土) 現地10時集合

会 場 奥多摩大丹波川国際ます釣場

(川井駅下車徒歩25分)

立川発8:20(青梅乗換え) 川井駅9:22着

バス便9:27発 (この便のみ) 中学生まで

会 費 大人 1000円 こども 500円

※えいせい425号で大人1500円とお伝えしましが値下げしました

昼 食 焼きそば・フランクフルト・飲み物等準備します。

各自おにぎり程度を持参ください

申し込み 衛生局支部 内線63-210

えいせい
本庁版